

インド民主主義への挑戦:核開発、軍事化、権力の暴力に関する 国民大会からのメッセージ

日本の友人のみなさん！

私たちは、インド各地から首都のデリーに集い、8月30日と31日の2日間、「インド民主主義への挑戦：核開発、軍事化、権力の暴力に関する国民大会」を開催しました。300人もの人たちが、インドの民主主義を脅かすこれらの問題について討議したのです。

モディ首相が日本を訪れ、9月1日に首脳会談が行われます。今年の5月に就任した首相は、民主主義に対する脅威です。人権を無視し、権力の強化を進めています。今回の首脳会談で、インドと日本の原子力協力協定の交渉が重要な議題とされます。私たちの多くは、インド各地で日本企業である東芝、日立、三菱が関わる原子力発電所建設計画に反対する運動を展開しています。

この大会では、長崎からの平和青年大使である2人の日本の女子学生もメッセージを述べました。私たちは、ヒロシマ、ナガサキのヒバクシャたちを知っています。そしてフクシマの原発事故での被災者、避難民のことも知っています。

原発は人間には制御できないことは明らかです。スリーマイル島事故、チェルノブイリ事故、フクシマ事故がこれを明らかにしています。私たちは核兵器にも原発にも反対します。

ヒロシマ、ナガサキ、フクシマの苦しい体験をもつ日本人の多くは、どうしてインドや他の国に原発を輸出するのでしょうか。私たちは、原発はいりません。私たちは再生可能なきれいなエネルギー技術を求めます。

どうぞ日本のみなさん、原発輸出を止めて下さい。

日印首脳会談での協定交渉の合意を阻止して下さい。私たちも大きな声を上げて反対します。

私たちは、原発はいりません。なぜ、売るのですか。

原発輸出を止めることができるのは、私たち市民の連帯と協力です。

大会参加者は、皆さんに心からの連帯と、両首相に交渉破棄を求めるメッセージを送ります。

日印原子力協力協定を破棄せよ！

日本はどこにも原発を輸出するな！

私たち日印市民は、世界の原発を廃炉にするぞ！

日印原子力協定反対！

2014年8月31日
ニューデリーにて
国民大会を代表して